

徳川家康と 武田信玄 井伊領への侵攻



徳川家康の遠江侵攻後、徳川家の支配下となった

井伊領に武田信玄の軍が攻めてきた。

仏坂で激戦を交えることになり、多くの武将が亡くなった。



31歳の家康の前に
甲斐の虎・信玄が立ちほだかる



直虎が城を出て一ヶ月後、三河の徳川家康が遠江侵攻を開始。今川家の武將で地元の情勢に詳しい鈴木重時・菅沼忠久・近藤康用の三人、通称

井伊谷三人衆の手引きにより進軍した。今川領となっていた井伊谷城、引間城、堀川城を立て続けに攻め落とす。ほどなく、長年井伊家を支配してきた今川氏が滅亡し、井伊領の運命は、徳川対武田の勢力争いに委ねられることになる。元龜3年（1572）

には、武田軍が遠江に攻め込み、三方ヶ原の戦いが起こる。徳川軍は武田軍に大敗し、井伊領は大混乱に陥ってしまう。

三方ヶ原の戦いゆかりの地



みかたがほらせんじょう

三方ヶ原古戦場

元龜3年(1572)、武田軍と徳川軍が浜松市郊外の三方ヶ原台地で激突した戦い。家康の生涯で最大の敗戦といわれ、兵の数でも軍術でも劣る徳川軍は総崩れとなった。

浜松市北区根洗町
石碑：三方ヶ原墓園駐車場敷地内(北区根洗町)
交/JR浜松駅より遠鉄バス(伊勢乗り場)から約35分。
「三方ヶ原墓園」下車



ほとけざかかせんじょう

仏坂古戦場

三方ヶ原の戦いの前哨戦とされる仏坂の戦い。武田軍が井平城近くの仏坂に迫り、徳川軍と激戦を交えた。付近には、戦死者を手厚く葬った「ふるんは様」が祀られている。

浜松市北区引佐町伊平
交/天竜浜名湖鉄道「金指駅」より車で約20分



さいがかけかせんじょう

犀ヶ崖古戦場

三方ヶ原の戦いで徳川軍が、浜松城に逃げ帰った徳川軍が、犀ヶ崖に布の橋を掛け、武田軍をあざむき襲撃し、追い落とされたといわれる。敷地内の資料館には、三方ヶ原の戦いに関する資料のほか、死者の霊を鎮めるために始まった遠州大念仏を紹介している。

【犀ヶ崖資料館】浜松市中区巖谷町25-10
開/9:00~17:00 休/月曜(祝日の場合は翌日)
料/無料 交/JR浜松駅より遠鉄バス(伊勢乗り場)から約10分。「浜松北高」下車

幸運みやげ



出世城パワーカード 905円

家康の「しかみ像」が描かれている開運カード。持っているだけで出世運があがるとロコミで話題となり、サラリーマンを中心に大人気。ご自身のお守りだけでなく、合格祈願、就職祝いなどにも！浜松土産として喜ばれるはず。販売先：ホテルコンコルド浜松 浜松城



立体 しかみ像

「徳川家康三方ヶ原戦役画像」、別名「しかみ像」の立体像。徳川家康公顕彰400年記念事業の一環で2015年に制作された。浜松市博物館に展示されている。

家康人生最大の危機 家康の生涯最大の負け戦 三方ヶ原の戦い(みかたがほらせんじょうのたたかい)



出展：パブリックドメイン美術展

元龜3年(1572)年12月、武田信玄が徳川家康を破った合戦。家康の人生で最大の惨敗といわれ、大切な家臣を多く失った。命からがら浜松城へ逃げ帰る途中、武田軍に追われる恐怖からか、馬上で脱糞したという逸話が残る。城に戻った家康は自らの情けない姿を絵師に描かせ、戒めとして生涯手元に置いたと伝えられている。